

学校番号	36	学校名	長野県小諸商業高等学校 全日制
------	----	-----	-----------------

令和4年5月作成

令和4年度 長野県小諸商業高等学校 学校評価(1)

学校教育目標	中・長期的目標
教育活動を通して、個人の尊厳と協調の精神を体得させ、民主的な国家社会の形成者たる資質を培うとともに、専門教育により、広く国民経済における商業諸活動の担い手としての有為な人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○心身ともに健全で、人間性豊かな生徒を育てる。 ○学校および社会生活の規律を重んじる心を育てる。 ○学習習慣を確立させ、自ら学び自ら考える態度を育てる。 ○進路目標を明確にさせ、その実現に向けて粘り強く努力する姿勢を育てる。
今年度の重点目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣の確立および、挨拶・身だしなみの徹底を図る。 ○自ら問いを立て、その解決に向けて主体的・協働的に取り組む力を育成する。 ○地域社会との連携や協働による活動を通し、探究的な学びを推進する。 ○学習活動や様々な行事等へのICTの積極的活用、および知見の共有を推進する。 ○生徒一人ひとりの人権を尊重し、いじめ・体罰等のない、安心安全な学校をつくる。 	

【係・委員会】

係等	今年度の重点目標	具体的な方策
教務	円滑な学校運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○長・中期的な見通しを立て、計画や実施方法を具体化し、全職員で共有、各係と有機的に連携しながら学校運営を行う。 ○新型コロナウイルス感染症などに伴う日課変更、オンライン授業などの措置に対して、生徒の安全・安心および学びの補償を最上位目標に据えて、迅速に、かつ混乱を避けるよう的確に行う。また、変更に伴う学事文書関係の整備を同時に行う。 ○2026年度開校小諸新校への統合に向け、内規や学校行事などの精査を行う。また、商業科高校のビジョンを確立し、統合後も生き続ける商業科マインドを全職員が共有できるようにビジュアル化する。
	広報活動の充実と生徒募集対策	<ul style="list-style-type: none"> ○体験入学、授業公開、クラブ体験、入試説明会などを、状況を鑑みながら円滑に実施できるように計画、実施する。 ○中学校訪問や体験入学などでの内容を精査し、商業の魅力や価値を発信して「伝わる」「行動させる」よう工夫を講じる。 ○統合を見据えて、また商業科の魅力や強みを中学生・保護者に分かりやすく伝えるための学校パンフレットの作成、並びに有効的な配布方法を工夫する。
生徒指導	登下校中の安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○登下校指導により交通ルールを徹底させる。 ○自転車通学者に交通安全を定期的に啓発する。 ○自らの命の大切さと他者への安全配慮を徹底する。
	身だしなみの確立	<ul style="list-style-type: none"> ○家を出る時から帰宅まで身だしなみを崩さない指導と助言を行う。 ○オフィシャルウェアとプライベートウェアの違いを理解させる。とくに式典時の身だしなみ指導を徹底する。

生徒会	主体性、協調性を持たせ、積極的に委員会活動へ参加させる。	<p>○委員会活動の意義と各委員会の役割を理解させ、自覚と責任をもって仕事に当たらせる。</p> <p>○受け身ではなく、自ら出来ることを考え、実行していけるような積極性と責任感を持たせる。</p>
	各種行事に全力で取り組み、一つ一つの行事が役員だけでなく全校生徒が満足のいくものとなるよう努力する。	<p>○各種行事については、全校生徒が「与えられて」行うのではなく、全校生徒で「作り上げて」いけるようなものとなるよう工夫させる。</p> <p>○行事の企画運営に関し、リハーサルの徹底にこだわり本番さながらの準備ができるよう、適切な助言・指導を行う。</p> <p>○各種行事ではコロナウイルスの感染状況により、急な変更にも対応できるよう、日頃よりICT機材の準備に慣れさせる。</p>
進路指導	生徒の進路意識の熟成と自己理解の深化	<p>○日頃より情報収集に努め、様々な経験を通して生徒が自分の生き方を考えられるような進路行事を企画する。</p> <p>○上級学校と連携した出前授業や特別講座を積極的に取り入れ、個々の生徒の成長を促す。</p> <p>○企業の雇用情勢や業務内容に注目をさせ、仕事への適性について考えさせる。</p> <p>○高大接続改革に向けて情報収集をするだけでなく、共有の場を設け、受験に対する指導体制の構築を図る。</p>
	基礎力診断テストの有効活用と基礎学力の定着	<p>○生徒に対しての動機付けおよび意識付け、職員への情報共有を行い、より有効な活用方法を模索する。</p> <p>○基礎学力定着のための学習計画の立案と実施</p>
図書	生徒の教養・知識の育成と学習センターとしての役割	<p>○図書館利用の促進を図る</p> <p>○図書委員の指導</p> <p>○図書の貸し出し返却の手続き・貸し出し期限の厳守</p>
	必要な情報を収集、選択、活用する能力育成のための情報センターとしての役割	<p>○蔵書の配分比率に即して本を収集する。</p> <p>○購入希望調査</p> <p>○図書館教諭・司書の研修会参加</p>
	読書を楽しみ、想像力と豊かな心をはぐくむ読書センターとしての役割	<p>○広報活動を積極的に行う。</p> <p>○他校との交流</p>
整美	校舎内外や学校周辺地域の環境美化に取り組む。	○清掃用具を整備して各自が清掃活動に参加できるようにする。
	ゴミの分別の徹底を図る。	○各クラスやゴミ集積所で、美化委員により呼びかけを繰り返す。
ICT視聴覚	学習活動へのICTの積極的活用の推進	<p>○ネットワーク環境を活かせるよう必要な機器を導入する。</p> <p>○オンライン授業を実施するためのICT環境整備を行う。</p> <p>○GIGAスクールサポーター、職員による研修会を実施する。</p> <p>○ICTを活用した観点別評価の推進に努める。</p>
	生徒会活動などにおける適切な放送運営	<p>○各種行事については、生徒が主体的に行動できるよう日頃から機材等の取り扱いを指導する。</p> <p>○本部役員とも連携がとれるよう適切な助言を行う。</p> <p>○各種行事ではコロナウイルスの感染状況により、急な変更にも対応できるよう、日頃よりICT機材の準備に慣れさせる。</p>

P T A	PTA活動の充実	○厚生委員会 「PTA講演会」の企画 ○教養・生徒指導委員会 「朝の声掛け指導」で生徒とふれあう年2回発行「PTA会報」の内容充実「PTA同窓会講演会」の企画
	学校に足が向くPTAづくり	○PTA講演会・総会・学年学級PTAへの参加呼びかけ ○スマイル小商店街・合唱コンクールへの参加呼びかけ ○PTA同窓会講演会への参加呼びかけ
	社会的弱者とされる障害を持つ方や高齢者、女性、また同和地区出身者や外国由来の方など様々な立場の人々のおかれた状況や思い、生活課題などを知ることを通して、自立した人間として他者によりよく共生できる感性と態度を育成する。	○全校生徒対象の人権の映画観賞会を実施する。 ○他の係と連携をとり、人権意識の向上、道徳教育の推進に努める。
人 権 平 和	研修旅行などの行事を通じて、被災された方々の労苦に思いを馳せると共に、防災・減災に対して学びを深め、地域社会の担い手としての意識を高める。また授業やその他の行事を通して、戦争の悲惨さを知ると共に平和の大切さを学び、主体的に平和を構築できる意欲と態度を育成する。	○修学旅行の事前学習や各学年行事など学年とも連携して、安心して生活できる環境(防災や平和への意識)の有難さを認識させる。また授業などで各教科とも連携し、生徒が戦争の悲惨さや平和の大切さを継続して意識できるよう、配慮する。
	生命の大切さや人間としての尊厳を意識させあらゆる差別やいじめ、不正を排し、自他を尊重できる実践的な態度を育成する。	○各係と連携し、命の大切さの意識や新型コロナウイルスの感染などから生ずる差別やいじめなどを許さない意識や態度の育成指導を、適宜適切に行う。
保 健	日常生活の中で健康を意識し、自他ともに健やかで安全な生活が送れる生徒の育成	○保健室来室時に適切な処置、指導を行う。 ○ほけんだよりを月に1度発行、掲示物の活用を積極的に行う。 ○生活習慣等、生徒と接する中での気付きを指導の中に取り入れる。 ○感染症対策・教育を徹底し、自らの健康を意識し、適切に対応できるように指導を行う。
	心理的に不安を抱えている生徒の把握と支援	○保健室来室時の聞き取り、経過等の観察、生徒の気持ちを尊重した支援を行う。 ○担任や生徒相談係など、各係との連携を日ごろから行う。 ○地域の関係機関と密に連携を取り、家庭を含めた支援に繋げる。
同 窓 会	学校や生徒のニーズに合った講演会の計画・実施	○より良い同窓会(PTA共催)講演会を企画する。 ○学校、生徒の要望を正確に捉え、同窓会として応えられることを行っていく。
生 徒 相 談	いじめ・悩みを抱えた生徒及び特性を持つ生徒の把握と適切な対応・支援	○アセス、「いじめ・悩みに関するアンケート」実施 ○生徒相談委員会、学年、学級担任、保健室との連携 ○SC、SSW、巡回支援指導員の活用 ○教育相談調査票の実施と活用 ○支援に必要な情報提供 ○支援会議の計画・実施
	いじめ防止及び自殺防止に関する生徒、職員への研修	○本校生徒の実態に即した学年ごとの研修の実施 ○職員への情報提供と研修

【学年】

三 学 年	<p>様々な学校行事において積極的に取り組む姿勢をもたせ、最上級生としての自覚と誇りを育む。</p>	<p>○生徒会活動、クラスでの活動や学校行事において、目的を意識させるとともに自分の役割に対する責任感を育てる。</p>
	<p>個々の生徒に合わせた指導を行い、進路希望が実現できるように支援する。</p>	<p>○三者面談、個別面談などを通して生徒それぞれの進路に合わせた指導を行う。個々進路行事や企業見学、オープンキャンパス等、積極的に参加させ、生徒それぞれが自分の進路について真剣に考え、実現に向けて行動できるように指導する。</p>
二 学 年	<p>基本的な生活習慣や、集団の中での行動を通して社会人基礎力を養成する。</p>	<p>○授業や学年集会などを通して、時間厳守、身だしなみについて繰り返し指導する。聴く姿勢を身につけさせると共に、主体的に学習に取り組む習慣づけを行う。</p>
	<p>自ら考え、主体的に行動する力を養う。</p>	<p>○学校生活の様々な場面において、教員からの指示を待たずに、場所・状況に応じて何が必要かを自分で考えるように意識付けさせる。また、地域資源を活用し地域に還元できる力を身に付ける。発信力も同時に習得させる。</p>
	<p>各自のライフプランについて考えさせると共に、進路意識を高め、個々の進路を具体化させていく。</p>	<p>○進路ガイダンスや講演会等を有効に活用し、生徒がそれぞれの進路を具体化させるとともに、進路実現のための課題を考えさせる。また、多くの「大人」との交流も積極的に仕掛けていく。</p>
一 学 年	<p>自律 自ら考え、行動する姿勢を養う。</p>	<p>○挨拶、身だしなみ、時間の管理等の基本的な生活習慣の確立するため、日々の声かけを行う。</p> <p>○学習環境を整え、授業に集中できる空間を作る。そのために、生徒自身が環境整美や私物の管理をする姿勢を持つことを目指す。</p> <p>○ビジネス探究プログラムを通して、自己理解をし、自己の価値や学びの意義を見出すとともに、学習習慣の確立を目指す。</p>
	<p>協調 他者を尊重し、他者と協調する姿勢を持つ。</p>	<p>○SST(ソーシャルスキルトレーニング)などを実施し、他者と関わる基本を見直し、日々実践する。</p> <p>○挨拶や感謝の気持ちを持ち表現することを徹底する。</p> <p>○学年集会やビジネス探究プログラムによって、他者の考えを知る機会を増やし、他者理解に努める。</p>
	<p>挑戦 物事に前向きに取り組む姿勢を育む。</p>	<p>○学習目標を持つために、基礎力診断テストの分析を行うとともに、就職や進学に関する知識を深める。</p> <p>○ビジネス探究プログラムや検定取得を通して、挑戦する姿勢を確立する。</p> <p>○検定取得や学校生活を通して自己肯定感を高め、新たな可能性を切り拓く姿勢を養う。</p>